

情報公開文書

研究の名称	膵切除後合併症に対する再手術症例の検討
整理番号	
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	外科学（消化器・腫瘍・総合外科） 教授 藤井努
研究の概要	<p>【研究対象者】 2012年1月1日から2021年12月31日に膵切除術を施行後、2023年6月30日までに術後合併症に対して再手術を受けた患者様</p> <p>【研究の目的・意義】 膵切除後合併症に対する再手術を施行した患者の背景情報、術後の治療経過、治療のタイミング、予後（転帰）などの臨床的要因を解析・評価し、最適な治療のタイミングや予後に影響を与える因子を特定することを目的とします。</p> <p>【研究の方法】 富山大学附属病院で上記該当症例を対象に、医療記録を基にした下記の匿名化データを集積して、研究代表機関へ送付します。</p> <p>【研究期間】 施設による研究実施許可日～2025年12月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 学会発表および学術雑誌への掲載により公表します。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 （研究代表機関への情報の提供）	<ol style="list-style-type: none"> 1 膵切除術前情報：年齢、性別、身長、体重、BMI、ASA-PS (American Society of Anesthesiologists physical status)、既往歴（心血管疾患、呼吸器疾患、腎疾患）、糖尿病、術前の血液所見（白血球、好中球、単球、リンパ球、ヘモグロビン、血小板、CRP、アルブミン、総タンパク質、総ビリルビン、Cre、eGFR(推算糸球体濾過量)、HbA1c、栄養・炎症性マーカー（PNI (prognostic nutritional index)、mGPS (modified Glasgow prognostic score)、NLR (Neutrophil/Lymphocyte Ratio)、PLR (Platelet/Lymphocyte Ratio)、LMR (Lymphocyte/Monocyte Ratio) 等)、腫瘍マーカー(CEA, CA19-9, DUPAN)、糖尿病薬（経口薬・インスリン）、ステロイド薬、抗凝固薬・抗血小板薬使用の有無、(悪性疾患の場合)術前治療の有無、治療内容、放射線治療の有無、治療期間 2. 再手術時術前情報：再手術理由、血液所見（白血球、好中球、単球、リンパ球、ヘモグロビン、血小板、CRP、アルブミン、総タンパク質、総ビリルビン、Cre、eGFR、HbA1c、栄養・炎症性マーカー（PNI、mGPS、NLR、LMR等） 3 周術期情報(初回手術時・再手術時)：手術日、術式、血管合併切除、他臓器合併切除の有無、内容、手術時間、出血量、術中輸血の有無および輸血量、病理診断。 4 術後短期成績(初回手術時・再手術時)：合併症(術後出血、膵液漏、胆汁漏、吻合部狭窄、胃排出遅延、切開創手術部位感染、臓器・体腔手術部位

	<p>感染など), その他合併症の詳細, Clavien-Dindo 分類, ISGPS(国際膵臓外科研究会)分類),</p> <p>5 術後合併症に対する治療: IVR(画像下治療)/内視鏡治療の有無, 内容, 実施日.</p> <p>6 退院日, 術後在院日数, 術後 30 日及び 90 日以内の死亡の有無, 再入院の有無, 合併症による再入院日.</p> <p>7 術後補助療法内容, 術後補助療法導入・完遂の有無, 悪性腫瘍再発の有無, 再発確認日</p> <p>8 予後: 長期成績(最終転帰確認日, 生死, 死亡日, 病死/他病死の有無).</p> <p>9 イベント発症時 IVR 専従医師の在否</p>
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院 病院長 林篤志
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者(研究主機関における研究責任者氏名)	奈良県立医科大学 消化器・総合外科 庄雅之
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 076-434-7331</p> <p>FAX 076-434-5043</p> <p>担当者所属・氏名</p> <p>富山大学 外科学(消化器・腫瘍・総合外科) 特命講師 吉岡伊作</p>